

ボランティア登録者の声



介助ボランティアの
まい た あき こ
米田 昭子さん
(白井・63歳)

今、できるときにしてあげたい

皆さんのお役に立ちたいと思い、介助ボランティアに登録しました。運転はできないけれど、介助の方でお手伝いできればと思っています。

いつかは自分も年を取り、誰かのお世話になることがあるかもしれません。だから、今できるときに、誰かに何かをしてあげたいと思っています。

移送サービス事業の登録者は現在、利用者が9人、運転・介助ボランティアの方が16人です。同協議会の下道裕一主任は「利用者の方は車がなかったり、自動車免許がないという方がいます。一人でも多くの人にこの事業に参加していただきたいです」と皆さんに利用などを呼び掛けています。(問い合わせ先・村社会福祉協議会 ☎0194-3512100)

福祉車両は冬でも安心の4WD(四輪駆動)車で、車両価格は約300万円。助日本船舶振興会から160万円の助成を受け購入しました。

装備は、電動リフター付きで、リモコン操作で車いすに乗ったまま乗り降りができます。車いすの固定も電動式で車いすをしつかりと固定できる安心の装備です。

また、後部座席を利用したい方には、助手席側のスライドドア部に、乗り降りに便利

な電動式のスライドステップ(補助ステップ)が付いています。

村社会福祉協議会では4月3日、移送サービス開始に当たり、村自然休養村管理センターで車いすの操作や福祉車両の説明会を開きました。

説明会には、同サービスを利用される方の家族や運転・介助ボランティアの方など約20人が参加。普代村デイサー

ボランティア会員を募集中!

ビスセンター(斉藤正明所長)の職員3人が講師となり、車いすの基本操作や段差のある場所の操作方法など車いすの基本的な操作を学びました。

その後は、実際に車いすに乗って、福祉車両の電動リフターで乗り降りを確認したり、使用時の注意事項などを皆で確認しました。

定員は車いす含む6人乗りで、室内高は余裕の1.3m。2列目シートはスライド・脱着が可能になっています。

操作は簡単、電動リフト付き



簡単操作のリフターなど便利な装備がいっぱいです



■全自動リフター

付属のリモコンのボタン操作だけで、リフターの昇降・スライドができるので、介助する方も安心です。自動車後部ドアの開口高も122cmと広く、車いすに乗ったまま乗り降りできます。



■車いす固定装置(電動式)

車いすの前後4カ所にフックを掛け、スイッチを押せば、電動でしっかりと車いすを固定できる装置が付いています。走行中でも転落する恐れがないので、安全性も確保されています。



■電動式スライドステップ(左側)

ステップが一段増えることで、乗り降りの負担を軽減します。助手席後部のスライドドアを開けると警報ブザーが鳴り、スライドステップが出てきます。必要なときだけ出せる手動式にもなります。